

# 行政視察報告書

令和 2 年 10 月 20 日

長浜市議会議長 柴田光男 様

長浜市議会議員 中 篤 康 雄

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 会派による先進地事例研修
2. 視察期間 令和2年10月 8日(木)～ 9日(金)
3. 視察場所及び目的
  - ①新潟県妙高市・NBファーム  
・6次産業強化のための研修について
  - ②新潟県新発田市・イグネスしばた  
・えきまち長浜をさらに機能強化できるアイデア等を視察を通事で学ぶ
  - ③新潟県新潟市・アグリパーク  
・神田スマート IC 周辺整備の将来取り組み事業について先進事例に学ぶ

## 4. 調査内容感想等

### ■視察の目的

本市の小谷城スマート IC 周辺の6次産業のさらなる推進と神田スマート IC 周辺整備の将来取り組み事業について先進事例に学ぶ

### ■視察内容

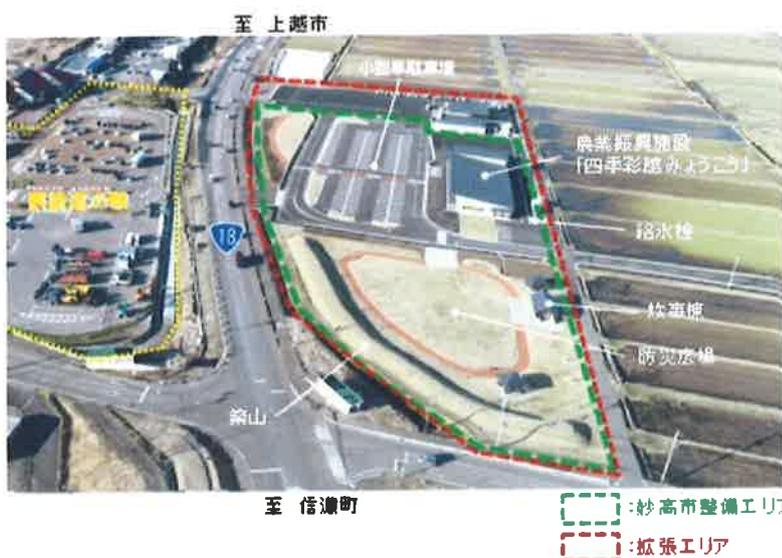
#### ◎新潟市妙高市道の駅あらい

上信越自動車道新井 PA・スマート IC に隣接し、国道18号と高速の双方からアクセスできる。

観光案内所をはじめ、物産館、農産物直売所、鮮魚センター、ラーメン、そば、回転寿司、ピッツア、ベーカリーなどの多彩なお食事処のほかに、ビジネスホテル、コンビニ、コインランドリーもあり、新潟のおいしいお米・地酒・鮮魚を販売していた。



さらに、道の駅あらいの東側に整備された拡張エリアが本年にオープン。農産物の直売所が入る「四季彩館みょうこう」には初日から行列ができ、入場制限がかかるほど大盛況であったとのこと。



提供：国土交通省

道の駅あらいの国道 18 号線を挟んだ東側に拡張整備されたエリア。妙高市と高田河川国道

事務所が連携し、防災機能の強化や地域活性化などを目的に整備した。面積は既存の道の駅よりも広い約3万8,000㎡。炊事棟などがある防災広場、直売所やレストランが入る複合施設「四季彩館みょうこう」をはじめ、授乳室などを完備した多目的トイレ、屋根付きのチェーン着脱場がある。駐車場は235台分。整備費用は総額4億5,700万円（3分の1が国からの補助）。

#### ■感想

今後は、県と協議をして、さらに農振除外を行い農工法により産業団地を建設造成したいとの市長方針との意気込みであったことに驚いた。

### ①妙高市 ミスト栽培

#### ■視察目的

6次産業の強化のため研修をする。

#### ■内容

ミスト栽培とは化学合成農薬を使わない、人体に安全な農作物を生産するために開発された画期的な農法のことです。有機堆肥を敷き詰めたパレットを棚上に並べ、棚下を密閉し植物を栽培します。植物の根はパレット底部のメッシュを通して棚下の密閉空間に繁茂します。そこへ液肥をミスト化し根に噴霧します。この農法はさまざまな野菜、穀類、根物、茶樹、果樹栽培に応用することができます。人体に害を及ぼす化学合成農薬を使用せず、安全で安心な農作物を高品質かつ大量に収穫可能な21世紀型の農業技術です。



#### 1. 事業着手のきっかけ

現在の建設業界は公共事業の削減に伴い非常に厳しい環境に置かれており、弊社も将来の展望を勘案し新規事業の取り組みを急務と考え取締役会にて提案、各部門より人材を起用し新規事業プロジェクトチームを発足。農薬を一切使用しない大葉栽培（ミスト農法）に出会い、「食の安全・安心を妙高から発信する」を会社理念に掲げ株式会社N Bファームを設立し、大葉栽培に着手。

#### 2. 事業実施の経緯

平成15年6月、東京の環境ビジネススクールに参加、そこでミスト農法に取り組んでいる株式会社オーツーコーポレーションと出会い伊豆の大島に在る試験棟を見学し新規プロジェクトチームで検討に入る。平成15年8月、新規プロジェクトチームで茨城県の

ミスト農法に取り組んでいる大葉農家を見学し、ミスト農法の素晴らしさに共感、事業性等での検討に入る。技術提供を株式会社オーツーコーポレーション⇒栽培を株式会社NBファーム⇒販売を株式会社ヴォークス・トレーディング（全量買取）というシステムを確立し、ミスト農法に取り組む事に決定。

平成15年12月雪国の妙高地区で大葉栽培が可能で有るかを検証する為、試験棟ハウス（30坪）の建設を開始。平成16年2月試験ハウスに定植、苗の生育検証開始、冬季間でも栽培可能と判断、本格栽培のハウス建設を検討開始。

平成16年7月新潟県妙高市大字小原新田の妙高市遊休地である旧南部スポーツ広場に管理棟・設備棟・栽培ハウス（約600坪）3棟建設開始。投資額ハウス・設備1棟7800万円（3棟2億3400万円）管理等・設備棟・その他8800万円総工費3億2200万円＊全額株式会社野本組メインバンクより融資平成16年9月本格栽培の準備開始、試験棟ハウスを利用し大葉の播種。平成16年10月建設完成。本格栽培開始、各棟定植・生育開始。平成16年12月初出荷開始。

平成17年7月弊社の事業成果から新潟県妙高市大字大原新田に株式会社オーツーコーポレーション、株式会社NBファーム出資で株式会社農業参入第1号として株式会社妙高ガーデン（栽培ハウス600坪12棟）進出決定、ハウス等の建設に関しては株式会社野本組の施工で実施。

### 3. 苦労した点

当初、資金調達の段階で補助金・農林漁業金融公庫のスーパーL資金等の融資を検討していたが、実績が無いとの事で一切受けられず株式会社野本組のメインバンクから融資を受ける事にした。現在建設設備資金等は全額自己資金で賄っている為収支上かなりの割合を占めている。弊社の実績により設立した妙高ガーデンに関しては、補助金が受けられるようになり経営面でもかなり軽減されたが、現行も弊社は資金制度を活用出来ない。栽培面では苗は順調に生育したが、ご紹介の通り母体が建設業であり農業経験（大葉栽培）が無い

### 4. 会社名

所在地 新潟県妙高市美守1丁目13番10号 株式会社NBファーム

### 5. 視察感想

新潟の雪深いこの地で、ハウスは、鉄骨造りで、消雪は、井戸水を発揚、すでに暖房をしていた。

このコロナ過の中で、おうちでご飯を食べる家族や動画でのレシピの紹介によりオウバの使用が増加で生産工程と管理が難しい状況であったとのこと

さらに、作業については、収穫を地元雇用やしょうがい者雇用により対応されている。雪の多い本市でも、流通ルートを確立すれば、対応できると感じた。

②新発田駅前複合施設（イクネスしばた）

■視察目的 「えきまち長浜」をさらに機能強化できるアイデア等を視察を通じて学ぶ

■施設内容

新発田駅前複合施設（イクネスしばた） 図書館、プレイルーム、こどもセンター、キッチンスタジオ、音楽練習室それぞれが機能融合した行政棟を建設した。隣接地に民間事業者による商業施設、医療施設、観光案内所と学生寮が入る民間棟を建設している。

■ポイント

中心市街地内で、公的不動産の移転・再整備を繰り返し、また民間活力も含め、優良宅地造成等を行い、中心市街地の都市構造の更新を行っている。

■目標

新発田の歴史を活用したまちづくりと住民の生活機能を重視し、誰もが充実した市民生活を送ることができるまちづくりの実現を図る。指標 歴史を活用したまちづくりと住民の生活機能を重視し、誰もが充実した市民生活を送ることができるまちづくりの実現を図るため、居住者の減少率・通行量・観光客数・空き店舗率を指標としている。

■視察感想

しばたのまちづくりは、しばたの「目」歴史・文化ゾーン・アイネスしばたとして、新発田城、公園があり、まちの顔を構成。しばたの「鼻」公共サービスゾーン・ヨリネスしばたとして、新発田市役所がある。しばたの「口」情報発信ゾーン・イクネスしばたとして、教育・食育・育児のばがある。

こうして、しばたの中心市街地は、それぞれの目的をもって、たしかなまちづくりを着実に大きなビジョンを掲げて推進していると感じた。

新発田駅前の複合施設は、官民用地の等価交換により、駅前用地を活用し官民連携により機能融合した“まち・ひと・活動をつなぐ”複合施設を構成している。

棟名	敷地面積	階数	延床面積	事業期間	管理・事業費	施設概要
行政棟	4680 m <sup>2</sup>	3階	7230 m <sup>2</sup>	平成25年～28年	市直営 4106百万円 50%交付金	1階～3階 図書館・多目的スペース 2階 こどもセンター・キッチンスタジオ 1階 カフェ・音楽練習室 駐車場200台駐輪場90台
民間棟	1900 m <sup>2</sup>	4階	3145 m <sup>2</sup>	同	(株)新栄地所 2025百万円 1/3又は2/5が交付対象	1階 薬局・コンビニ・コインランドリー・観光案内所 2階 医療モール 3階4階 学生寮

※対象事業費の95%が起債充当ができ、後年度返済額の70%が地方交付税の算定基準に上乗せされるとしているが、これは、市町村合併を促進するために設けられた地方債発行の制度で、合併年度から10年間に限り、新しい自治体の財源として借り入れすることができるものです。市町村合併建設計画に基づく事業（合併特例事業）のうち、特に必要と認められる事業に限り使うことができます。事業費の95%に充てることができる、返済額の70%が地方交付税の算定基準に上乗せされます（交付税措置）。ということであるが、私達のまちもこの内容を検証するとともに、建設にあつては、今後、大きなビジョンの中にあつてその施設がどのような役割や効果を与えるのかしっかりと確認する必要があると感じた。

また、「イクネスしばた」では、10代の居場所カフェを無料設定し、様々な相談にも応じている。さらに、2階のキッチンスタジオは、ガラス張りとなっており、隣の図書館や多目的室からも中の作業を本を読みながら子供が料理に挑む姿が見えるのは、工夫していると感じた。

2度の合併、人口9万6千人、面積533km<sup>2</sup>、新発田城、議員数25人、一般会計予算418億円、高校6校、敬和学園大学、新潟職業能力開発短期大学等ほぼ長浜市と似た環境にある、本市に無いのは、「もっと美人になれる温泉「月岡温泉」」。だが、なぜ本市とどこがまちづくりが違うのかですが、長浜市の様に今までのまちづくりにプラスしているのではなく新たな大きなビジョンと目的、目標をもって着実に定着したまちを構成している点と道路整備が整っている点に違いを大きく感じた。

#### ■新発田市・月岡わくわくファーム等

月岡わくわくファームは、農産物直売所をはじめ、地域資源を活用した農家レストラン、イタリアンレストラン、お菓子処、の4つの施設で運営。

いずれの施設におきましても、地元産にこだわり地産地消を推進すること、そして、地産地消の推進を通じ食育の啓蒙に寄与することを基本的な考え方としている。



地元の食材を用いた和菓子やお饅頭、洋菓子、農家レストラン ぶどう畑は、わくわくファームの契約生産者の皆さんが栽培した旬の新鮮な野菜や果物販売。本来あった昔ながらの「持続的に循環する暮らし」から学び、現代に見合った、自然への“最小限の負担”となるような生活スタイルを探し共有することが大切だと考え、“環境的持続可能

性”、“社会的持続可能性を求め活動している。さらに、日本一長い木製ブランコや、この施設を各地して、近隣に販売店も設置してあり、盛況であった。

### ■感想

道路整備とこんな、施設を神田スマートICに設置する構想が無いと事業は、成立しないと感じた。



わくわくファーム 新発田店





### ③新潟市アグリパーク

#### ■視察目的

6次産業の強化のため研修をする。

#### ■内容

アグリパークでは、農産物の栽培・収穫体験や、牛の搾乳や羊、山羊とのふれあい体験などができ、最大70人宿泊できるコテージを備えています。また、農家に加工技術などを指導する食品加工支援センターを開設し、隣接する農業活性化研究センターと連携しながら6次産業化への取り組みを支援。

アグリパークでは、教育委員会が中心となって作成した、学習と農業体験を結びつけた農業体験学習「アグリ・スタディ・プログラム」を実施しています。アグリパークでは、幼稚園や小・中学校向け、一般向けなど、子どもから大人まで幅広い年齢層の方が体験できるプログラムを用意している。

学校などの団体利用だけでなく、家族、友だち同士、町内会などでもご利用が可能です。また、農業をやってみたいという方のために、就農支援プログラムも用意しています。食品加工支援センターでは、食品加工技術、パッケージ、デザイン、販売流通、マネジメントを一体的に学べるプログラムにより、6次産業化を支援している。

#### ■感想

新潟は、米どころ、農業県なのに、産業団地や6次産業推進のための流通施設やさらにしぶした、農産物の栽培・収穫体験施設、食品加工支援センター、農業活性化研究センターや地元の食材を用いた和菓子やお饅頭、洋菓子、農家レストラン ぶどう畑など一連の施設を構成した広場やわくわくランド、アグリパークなど充実していると感じた。

本市もJAや森林組合などと連携した施設が高速道路や国道などの道路環境も整った場所に必要で、卵や農作物、肉なども付加価値の高いものを販売したり、食していただく施設が必要だと思いこれを実践するために努力したいと思います。